

outframe -----		
ﾎﾞﾙ 作成の手続き（個体を構成する）		
1.	個体（entity）を構成する。	
	「情報」を仕訳する。	語いを転記する。
定義	個体(entity)である = _{DF} 個体指定子が付与されている対象である。	

▼ 「情報」を仕訳する。

● 「情報」の例

受注入力画面			
顧客番号	× × × ×	顧客名称	× × × × × × × × × ×
顧客区分ｺｰﾄﾞ	× ×		
受注番号	× × × ×	受注日	× × × × × × × ×
商品ｺｰﾄﾞ	× × × ×	商品名称	× × × × × × × × × ×
商品単価	999,999	受注数	999

● 仕訳のしかた

情報名	
× × 番号 × × ｺｰﾄﾞ	番号・ｺｰﾄﾞ 以外 区分ｺｰﾄﾞ

● 仕訳された状態

受注入力	
顧客番号	顧客名称
受注番号	顧客区分ｺｰﾄﾞ
商品ｺｰﾄﾞ	受注日
	商品名称
	商品単価
	受注数

▼ 語いを転記する。

- 個体指定子 (entity-setter) を転記する (元帳を作る)。

顧客	
顧客番号	

受注	
受注番号	

商品	
商品コード*	

- 語い (項目) を元帳に転記する。

顧客	
顧客番号	顧客名称 顧客区分コード*

受注	
受注番号	受注日 受注数

商品	
商品コード*	商品名称 商品単価

応用編

個体指定子は、番号・コード* 以外を使うこともある。

商品		R
商品略称	商品名称 商品単価 :	



個体指定子の値が「一意」であるかどうかを気にしないこと。

→ 「キー (index-keys) の定義表」